

わがやの にんきもの

このコーナーでは、市内在住の1～3歳までのお子さんの写真に、お父さん・お母さんのコメントをつけて紹介しています。誕生日など、思い出の1ページとしていかがですか？
ご希望の方は、【秘書課・広報広聴係 ☎43-2112】までご連絡ください。



おぎぬま はると ひな
荻沼 晴翔・日菜ちゃん

佑行・優子さんの長男・長女 北大宝

公園で遊ぶのが大好きで、毎日元気いっぱいな晴翔。外遊びが大好きで、「こっち来て！」と私たちを外へ連れ出すおてんば娘の日菜。元気すぎて少し騒がしい我が家の元気印です。いっぱい遊んでいっぱい食べて、のびのびと健やかに成長してもらいたいです。



のやま みずき
野山 瑞稀ちゃん

裕貴・佳織さんの長男 下妻戊

標準より小さく産まれたのが、今では元気いっぱいになりました。甘えん坊だけど、最近は自分のこともお手伝いも「やる！」と、どんどんしっかり者になってきました。
電車が大好きな瑞稀。いろいろな電車でお出かけしてたくさん楽しい思い出作ろうね！



いのことは はるき
猪野 琴葉・栄樹ちゃん

栄也・恵さんの長女・長男 下妻乙

わんぱくで食欲旺盛な姉弟！
弟のお世話をする優しいお姉ちゃん
と何でもお姉ちゃんの真似をする甘えん坊な弟。喧嘩もするけれど、お互い大好きで仲良し♡
これからも仲良く、元気いっぱいすくすく育てね！



大宝幼稚園

カエルの合唱ケロケロケロ♪



▲はな・にじ組の皆さん



雨が多い季節になりました。耳を傾けると「しとしと」「ざあざあ」「ぽつぽつ」とさまざまな音があることに気がきます。雨音に誘われて現れたカエルを見つけてびよんびよん跳ねるまねをしたり、「カエルのうたは・・・」と歌ったりしている子どもたち。友達と一緒に製作した紫陽花の周りで、可愛いカエルが大合唱です。



あらかわ たいが
(秋田県)
6才8カ月時点

口頭詩
子どもの純粋な
心のつぶやき

「ちよつとまつて」
(出典：第23回国民文化祭・いわさき2008
「口頭詩フェスティバル」つづききここ
もは詩人 第23回国民文化祭茨城県実行委
員会会長賞受賞作品)

おとなの
ちよつとまつては
ながいよね
こどもの
ちよつとまつては
すくだけど

【解説】
この会話の中で、私も「下キツ」と自分自身を振り返り「たしかに、ちよつと待つてね」を言いつつ、長く待たせてしまうこともよくあるなと反省させられました。
採集 幼稚園教諭
高橋由希子

市民文芸

俳句

竹の子みな静寂の中竹になる
心太ひと搗き海の匂ひして

柴崎 久江(柳原)
鯨井 幸(半谷)

短歌

雑草のなかの明眸犬ふぐり
いつの間にやら庭を制して
陽に当てし座布団の温みほっこりと
友の気遣いを我も学ばん
雨戸繰れば庭に群れ咲く鈴蘭の
匂ひかそけし部屋へ入りくる
東京五輪にいささ携ふ子のありて
ますます高しコロナ禍の波

関 千代子(下妻乙)
飛田 君子(下妻乙)
小竹八重子(五箇)
寺田 陽子(下妻乙)

わたしから あなたへ

さわやか
リレー
vol.185

前回登場の中山敦子さんからの紹介



はやし 薫さん(下宮)

「息子の成長」

私には小学5年生の息子がいます。最近、体も大きくなって、頼もしくなってきました。きたなあとよく思います。
私の実家はこの下妻で50年以上梨農家をしています。私は息子を小さい時から梨畑に連れて行っていました。息子はちよつと前まではおやつを食べたり、カブトムシを探したりするのが楽しみで行くだけでした。
それが昨年の休校期間中、おいしいちゃんあちゃん

と毎日梨畑に行つて、穴を掘つて新しい梨の苗木植えを手伝っていました。昨年の夏は梨もぎりも手伝つて「百個取ったよ」と自慢していました。4月は花摘みと人工受粉。息子の成長に感慨深い気持ちになります。家族で製作をしているので、息子が手伝ってくれてとても助かっています。お手伝いしようとする優しい気持ち、このまま持ち続けて欲しいです。

有料広告欄

有料広告欄